

夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年



我が国十何万の精神病者は実にこの病を受けたるの不幸の外に、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし。精神病者の救済・保護は実に人道問題にして、我が国目下の急務と謂はざるべからず。 呉秀三

映画「夜明け前」から私たちは何を学ぶか？

呉秀三は予言者？

・呉秀三が、私宅監置（座敷牢）の実態調査を世に出して、今年には100年の節目にあたる。呉は、調査報告書の中で、精神障害者が置かれている実態を指して、「この国に生まれた不幸」「この国目下の急務」と言い放った。天皇制を絶対とする旧憲法下のこの時代に、国にも申すというのは、それなりの覚悟がいったはずである。並々ならない信念と正義感を垣間見る思いがする。

・呉の業績と調査報告書が発するメッセージは、表現こそ古い言い回しだが、内容は斬新である。まるで予言者である。隔離処遇にしる、身体拘束にしる、呉が、当時問題にしたテーマの基本は、現代の精神医療の実態にそのままあてはまる。

・このドキュメンタリー映画が、日本の精神医療の「夜明け」をたくり寄せる上でいささかでも貢献できればと思う。まずは観てほしい。そして、地域で、学園で、そして精神科病院などで自主上映会を企画していただきたい。

きょうされん専務理事 呉記録映画企画責任者 藤井 克徳（ふじい かつのり）

*「きょうされん」ホームページより

監督：今井 友樹 監修：広瀬徹也 ナレーション：竹下景子

記念映画制作委員会：（公財）日本精神衛生会 きょうされん

主催：公益財団法人 日本精神衛生会

共催：きょうされん兵庫支部 神戸市精神障害者社会復帰施設連盟

なまえ：① _____ ② _____ ③ _____

所属： _____ 連絡先： _____

* 受け付けた場合ご連絡は致しません。定員を超えた場合のみご連絡いたします。ご了承ください。

2019.8.24（土）

13時30分～16時

たちばな職員研修センター

研修室

〒650-0016 神戸市

中央区橘通3丁目4-2

==== テーマ ====

映画「夜明け前」から何を学ぶのか
心を病んだ人々はなぜ
閉じ込められなければならないのか？
精神の病とは・・・
人間の尊厳とは・・・
いま突きつけられる問いかけ

* 第1部 映画「夜明け前」上映

* 第2部 対談

藤井克徳（きょうされん専務理事）

田中究

（ひょうごこころの医療センター院長）

進行 池山美代子

（全国きょうされん精神部会部会長）

==== 問合せ ====

きょうされん兵庫支部

078-582-4016

==== 申込み ====

8/9 までに下記申込欄に記入の上 FAX。078-582-1017

参加費無料！